

東京都台東区立谷中子ども家庭支援センターにおける指定管理者の指定の経緯

1 経過

令和5年 9月25日 第1回選定委員会（対象施設の視察及び審査基準の決定）
 10月19日 第2回選定委員会（書類審査）
 10月26日 第3回選定委員会（面接審査及び選定）
 12月19日 第4回区議会定例会において指定の議決、
 指定管理者として指定

2 選定方法

外部有識者と区職員による指定管理者選定委員会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について審査をした。区は、選定委員会の審査結果を参考に区議会の議決を経て指定管理者を指定した。

3 選定委員会構成員

	氏名	役職等
委員長	西 智子	元日本女子大学家政学部児童学科特任教授
委員	岡野 英之	中小企業診断士
委員	遠藤 孝一	地域代表（台東区民生委員・児童委員）
委員	仲田 賢太郎	企画財政部経営改革担当課長

4 選考基準

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
①団体の実績・安定性	団体の理念、経営方針等	応募団体が、区の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営に対する理念や基本方針を持っているか。
	類似施設の管理運営実績	類似施設の管理運営の実績を有しており、成果を上げているか。
	物的・人的能力	事業計画書に記載された業務を遂行するために必要な人的・物的基盤を有しており、または確保できる見込みがあるか。
		施設の管理運営に関する専門的知識や資格、経験を十分に有し、かつ、熱意や意欲を持っているか。
団体の財務状況	安定的な運営が可能な財政基盤があるか。	
②区の求める管理水準の確保	施設の設置目的に合致した管理運営	施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
		地域の住民や関係団体等との連携や協働による

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
		事業展開が図られるものであるか。
	施設の維持管理計画	具体的な維持管理計画となっているか。安全、快適、経費の縮減等が念頭に置かれているか。
	区民の平等利用の確保	公の施設としての役割を踏まえ、区民の平等利用に留意されているか。
	人員の配置計画	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
		施設の管理運営にあたる人員が合理的に配置されているか。
		有資格者などの配置は適切か。施設の配置基準を満たしているか。
		労働法令の遵守や、雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか。
③サービス向上への取組	利用者に対するサービスの向上	利用者の要望・意見・苦情等を把握し、改善に結びつける方策がとられているか。
		利用者のための有益な情報提供を適時かつ十分に行えるよう考えられているか。
		定期的に評価し、改善に結びつける方策がとられているか。
	自主事業	自主事業の内容が、施設の設置目的に合致しており、かつ利用者にとって魅力的なものとなっているか。
		現実的な収入見込みであるか。
		支出の抑制が図られているか。
	管理・運営についての提案	施設の現状を正しく認識し、今後の施設のあり方について具体的かつ適切な提案があるか。
		施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
		施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
④運営効率化への取組	管理に係る経費の縮減	効率的な運営を行うための実施可能な提案があるか。
		管理運営に支障が生じない、現実的な経費見積もりがなされているか。
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務を再委託する場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。
		効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
		収入を増加するための実施可能な提案があるか。

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
⑤危機管理・安全確保の取組	緊急時対策・防災対策	緊急時の対応を適切に行うための対策が講じられているか。
	個人情報の管理	個人情報の管理体制は適切か。
⑥職員育成の取組	職員の研修計画	職員の専門的知識・技能を向上させる職員研修計画となっているか。
⑦その他施設固有の性質等による項目	いっとき保育、あそびひろば利用向上に対する取組内容及び支援について	いっとき保育、あそびひろばにおける利用者数、利用満足度の向上につながるような質の向上に向けた取組に適切な提案があるか。
		いっとき保育、あそびひろば利用者に対する支援方法に適切な提案があるか。

5 審査結果

(1) 得点

審査項目		配点	指定管理者候補者
書類審査	①団体の実績・安定性	80点	68点
	②区の求める管理水準の確保	80点	59点
	③サービス向上への取組	80点	62点
	④運営効率化への取組	40点	25点
	⑤危機管理・安全確保の取組	40点	33点
	⑥職員育成の取組	20点	16点
	⑦その他施設固有の性質等による項目	80点	66点
	書類審査 合計		420点
面接審査	①団体の実績・安定性	20点	18点
	②区の求める管理水準の確保	20点	14点
	③サービス向上への取組	40点	36点
	④運営効率化への取組	20点	15点
	⑤危機管理・安全確保の取組	20点	16点
	⑥職員育成の取組	20点	18点
	⑦その他施設固有の性質等による項目	40点	32点
	面接審査 合計		180点
総合計		600点	478点
得点率%【合格基準70%以上】			79.7%

(2) 指定管理者候補者の主な提案内容

- ・専属の保健師が定期訪問を行い、発達・発育などの専門的な相談をしたい利用者が気軽に相談できるような環境づくり。
- ・専属の保健師や栄養士による発達や食育に関する子育て支援講座の開催。
- ・SNSを活用し、画像や動画を活用した情報発信や職員募集、アンケートを活用した利用者ニーズの把握。

- ・関係企業と連携した翻訳絵本のレンタルサービスや大型遊具による体験イベント、知育玩具の体験イベントの実施。
- ・地域のボランティア活動を集約する社会福祉協議会と連携した、地域ボランティアによる、地域交流のできる施設としてのイベント・講座開催。

(3) 選定委員会における主な意見

- ・SNSを活用した情報発信やアンケートの実施及びその内容の開示、入退館管理システムの導入や専属保健師による巡回など、これまでの施設では実施されていなかった新たな取組が提案されている。
- ・応募事業者の類似施設でのこれまでの実績の中で、短期間で契約が終了しているケースはないため、安定的な運営が期待できる。
- ・財務状況の財務諸表上は、優れた数字が出ている。
- ・職員への研修やヒヤリハット事例などを各施設だけでなく、情報共有ができるポータルサイトを立ち上げ、法人全体で共有している点が良い。
- ・谷中子ども家庭支援センターの地域性や現行の施設を活かした視点での、独自の地域との交流事業の実施や施設運営が出てくることを、今後の運営の中で期待したい。